

消防機関へ通報する火災報知設備の不具合について

NTT 固定電話の IP 移行に伴って消防機関へ通報する火災報知設備（以下「火災通報装置」という。）に不具合が発生しております。

1 発生する事象の内容

事象1 （ナンバー・ディスプレイ契約、モデムダイヤルイン契約）

火災通報装置を接続している加入電話回線がナンバー・ディスプレイ契約及びモデムダイヤルイン契約している場合、コールバック時又は自動呼び返し時に通話を成立させる呼び出し信号（IR 信号※1）の前に情報信号（CAR 信号※2）が発信される。

- 特定の火災通報装置は、先に発信された CAR 信号を IR 信号と誤認識して呼び出し音が鳴動してしまう。
- CAR 信号発出の6秒後に IR 信号が発出されるため、その6秒間に火災通報装置の受信機を取ってしまうと通話が成立しない事象が発生する。

※1 着信があることを電話機に伝える信号

※2 電話番号等の情報通知を伴う着信があることを電話機に伝える信号

事象2 （PBダイヤルイン契約）

火災通報装置を接続している加入電話回線がPBダイヤルイン契約している場合、コールバック時又は自動呼び返し時に火災通報装置と通話が成立するためには、受話器を取った後に IP 網から発信される内線指定番号に対して、受信完了信号を返す必要がある。

- すべての火災通報装置は、当該信号を返すことができないため、話中状態となり通話が成立しない事象が発生する。

事象3 火災通報装置の特定の型式が該当している

事象が発生する可能性のある火災通報装置の型式に該当している。

最新情報は以下の URL から確認することができます。

(URL:<https://www.fdma.go.jp/mission/prevention001.html>)

2 これらの改善方法

事象1については、次のいずれかの措置、事象2については(1)又は(2)の措置及び、事象3については(3)の措置を講じることにより事象が改善されます。

- (1) ナンバー・ディスプレイ契約等を解約する。
- (2) ナンバー・ディスプレイ契約等をしている加入電話回線と火災通報装置の回線を分ける。
- (3) 火災通報装置を CAR 信号に対応している機種に交換する

(問い合わせ) NTT西日本 0120-556-339【受付時間】午前9時～午後5時

折り返しの応答ができない場合にも、田川地区消防は出動しますので、命の危険性がある場合には避難を優先し、安全な場所にて携帯電話などで消防機関へ通報してください